

祝 平成25年 長万部町成人式

たくさんの祝福の中 晴れやかに大人の仲間入り

1月13日、「平成25年長万部町成人式」が学習文化センターで挙行され、48名の新成人が参加し、保護者をはじめ、多くの町民が大人への門出を祝福しました。

式典では、白井町長から「将来の日本を背負う者として、権利と義務と責任の意味について考えていただきたい。」と激励があり、続いて木幡町議会議長からお祝いの言葉が添えられました。

また、新成人を代表して三浦安奈さんが記念品を受け取り、松村宣寿さんが「人のお世話ができる社会人として、期待に応えられるよう頑張りたい。」と力強く謝辞を述べました。

式典に続いて、記念撮影と祝賀会が行われ、仲間とお酒を注ぎ合いながら思い出話に花を咲かせ、豪華景品が当たる抽選会では、番号が読み上げられる度に歓声があがっていました。



記念品を受け取る三浦安奈さん

力強く謝辞を述べる村松宣寿さん

はたちの声



山口 恭枝さん (理科大)

今回、私たちは長万部町で成人式を迎えます。一年間ともに過ごしてきた仲間たちと成人を祝えることは、記念すべき

思い出となるでしょう。

また、キャンパス祭やハートフルコンサートでは、町民の方々にもお力添えをいただき、町民の方々との絆も深めることができたことは、本当にうれしく思います。成人になれば、私たちも大人の仲間入りということで、お酒が飲めるようになります。そのことは少し楽しみです。しかし、同時に成人になれば、選挙権が与えられたり、年金を払うようになったりします。今まで以上に責任感を持って発言し、行動しなければなりません。私は、責任感を持った強い大人になりたいです。今日はみなさんのおかげで、素敵な成人式を迎えることができました。ありがとうございました。



近藤 真人さん (元 町)

今回、私たちは無事に成人式の日を迎えることができました。このような盛大な式を催していただき、大変感謝しています。

少し前までは、両親や先生をはじめ、多くの方々から守られてばかりであった私たちが、このように一人前の人間として認められるようになるとは、時の流れは早いものだと痛感させられます。

とは言え、成人として何をすべきか、私たちはまだわかりませんが、これまで以上に周りの方々の支援を受けながら、本当の意味で一人前の人間と認められるよう精進し、良き「大人の先輩」として、後輩に指導できるように、がんばっていこうと思います。

今までお世話になった方々への感謝を忘れず、そして、これからお世話になるであろう方々への感謝を忘れずに日々を生きていこうと思います。